第134期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

TAKEBISHI REPORT 134

株主の皆様へ

株式会社たけびし

証券コード:7510

岡崎神社

多様なパートナーと共に“京都発 最強のトータルソリューション商社”へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年6月28日付で代表取締役社長に就任いたしました岡垣浩志でございます。新たな体制のもと、更なる企業価値の向上に取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度より、当社は2026年度に向けた、新中期ビジョン「T-Link1369 ～Road to 100th～」をスタートいたしました。前中期ビジョンで築き上げてきた成長戦略を進化させると共に既存の枠組みを超えた変革に挑戦し、デジタル変革（ＤＸ）・自動化・再生可能エネルギー関連等、成長市場における事業拡大を推進いたします。そして、資本効率の向上とサステイナビリティ経営に取り組み、社会の変化に適応した持続的に成長できる企業を目指してまいります。

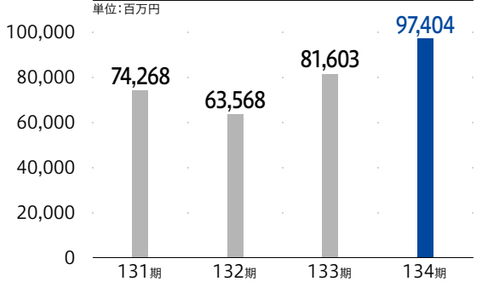
現在、当社は営業拠点を7支店・1営業所、関係会社10社（国内5社・海外5社）へと拡大し、主力の三菱電機製品と多くのパートナー製品に加え、当社オリジナル製品やシステム開発を提供し、お客様の多様なニーズにお応えしております。これからも、産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という、幅広い事業分野で多様な課題解決を実行する、“京都発 最強のトータルソリューション商社”として、時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

今後とも“たけびし”をご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

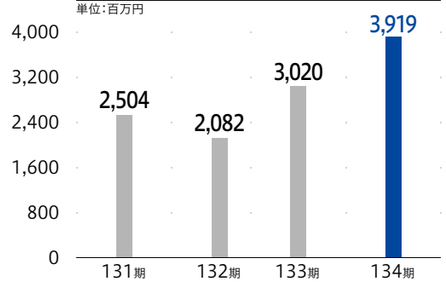
代表取締役社長 岡垣浩志

決算ハイライト（連結）

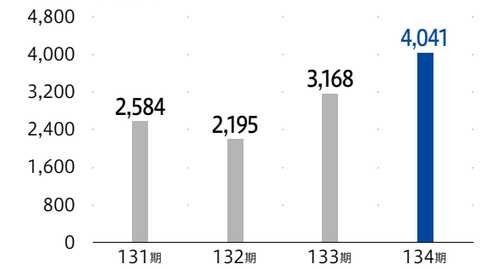
売上高 974億4百万円



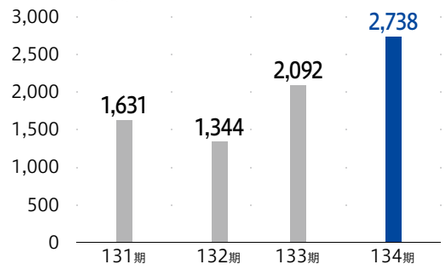
営業利益 39億19百万円



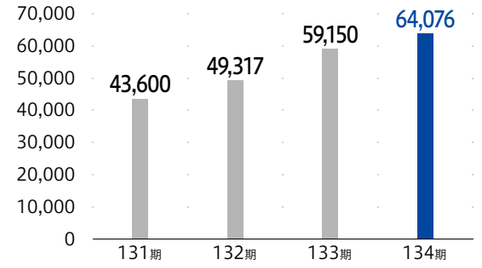
経常利益 40億41百万円



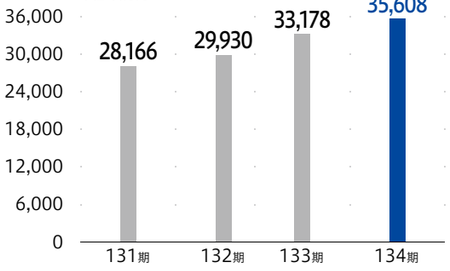
親会社株主に帰属する当期純利益 27億38百万円



総資産 640億76百万円



純資産 356億8百万円



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科目	当連結会計年度（2023年3月31日現在）	前連結会計年度（2022年3月31日現在）
資産の部		
POINT 1 流動資産	**50,832**	45,035
POINT 2 固定資産	**13,243**	14,114
資産合計	**64,076**	59,150
負債の部		
流動負債	**26,853**	24,389
固定負債	**1,613**	1,583
POINT 3 負債合計	**28,467**	25,972
純資産の部		
株主資本	**33,069**	31,176
その他の包括利益累計額	**2,526**	1,990
非支配株主持分	**13**	10
POINT 4 純資産合計	**35,608**	33,178
負債純資産合計	**64,076**	59,150

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科目	当連結会計年度［2022年4月 1日から 2023年3月31日まで］	前連結会計年度［2021年4月 1日から 2022年3月31日まで］
売上高	**97,404**	81,603
売上原価	**83,591**	69,449
売上総利益	**13,812**	12,153
販売費及び一般管理費	**9,893**	9,133
営業利益	**3,919**	3,020
営業外収益	**259**	230
営業外費用	**136**	82
経常利益	**4,041**	3,168
特別利益	**21**	14
特別損失	**6**	2
税金等調整前当期純利益	**4,056**	3,180
法人税、住民税及び事業税	**1,379**	1,142
法人税等調整額	**△ 64**	△ 57
当期純利益	**2,741**	2,095
非支配株主に帰属する当期純利益	**3**	2
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,738**	2,092

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科目	当連結会計年度［2022年4月 1日から 2023年3月31日まで］	前連結会計年度［2021年4月 1日から 2022年3月31日まで］
POINT 5 **営業活動によるキャッシュ・フロー**	**△ 716**	△ 890
POINT 6 **投資活動によるキャッシュ・フロー**	**△ 191**	△ 3,809
POINT 7 **財務活動によるキャッシュ・フロー**	**1,204**	2,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	**153**	△ 77
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	**449**	△ 2,722
現金及び現金同等物の期首残高	**5,892**	8,615
現金及び現金同等物の期末残高	**6,342**	5,892

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ポイント

POINT 1 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比57億96百万円増加し、508億32百万円となりました。これは主に、商品の増加51億29百万円があったことによるものであります。

POINT 2 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比8億71百万円減少し、132億43百万円となりました。これは主に、のれんの減少3億93百万円と投資有価証券の減少3億77百万円があったことによるものであります。

POINT 3 負債合計（流動・固定負債）

当連結会計年度末における負債の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比24億94百万円増加し、284億67百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加20億72百万円があったことによるものであります。

POINT 4 純資産合計

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末比24億30百万円増加し、356億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加18億92百万円によるものであります。なお、当連結会計年度末の自己資本比率は55.6%となっております。

POINT 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、7億16百万円（前連結会計年度は同8億90百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の要因により一部相殺されたものの、棚卸資産の増加47億83百万円があったことによるものであります。

POINT 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億91百万円（前連結会計年度は同38億9百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億82百万円があったことによるものであります。

POINT 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

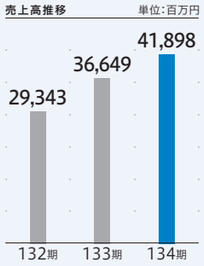
財務活動の結果獲得した資金は、12億4百万円（前連結会計年度は同20億54百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加19億0百万円があったことによるものであります。

［FA・デバイス事業］

産業機器システム
Industrial equipment and Systems

売上高
418億98百万円
（前年同期比14.3%増）
売上構成比
43.0%

売上高推移　単位：百万円

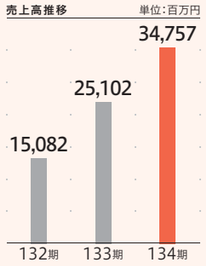


FA機器が半導体製造装置関連向け、産業メカトロニクスが5G関連向けで増加したことに加え、前連結会計年度の第2四半期から当社グループに加わったLe Champグループが装置システムの売上増に寄与したことから、この部門全体の売上高は前年同期比14.3%の増となりました。

半導体・デバイス
Semiconductors and Devices

売上高
347億57百万円
（前年同期比38.5%増）
売上構成比
35.7%

売上高推移　単位：百万円



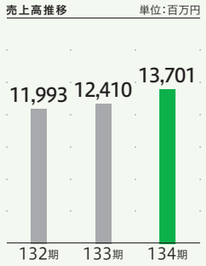
半導体製造装置関連及びパワーコンディショナー向け半導体が増加したことに加え、Le Champグループがデバイスの売上増に大きく寄与したことから、この部門全体の売上高は前年同期比38.5%の増となりました。

［社会・情報通信事業］

社会インフラ
Social Infrastructure

売上高
137億1百万円
（前年同期比10.4%増）
売上構成比
14.1%

売上高推移　単位：百万円

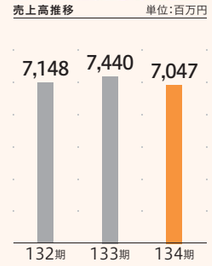


空調機器やCT・MRI等の医療用診断装置が増加したことから、この部門全体の売上高は前年同期比10.4%の増となりました。

情報通信
Information and Communications equipment

売上高
70億47百万円
（前年同期比5.3%減）
売上構成比
7.2%

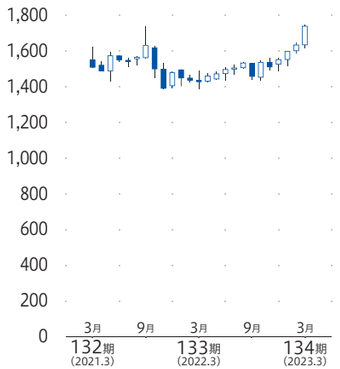
売上高推移　単位：百万円



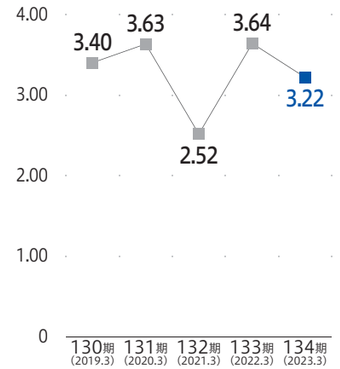
OA機器及びセキュリティ関連製品が増加したものの、主力の携帯電話でスマホ端末の販売が減少したことから、この部門全体の売上高は前年同期比5.3%の減となりました。

株価・配当利回りの推移

株価　単位:円

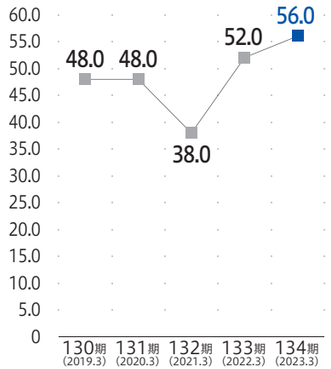


配当利回り　単位:%

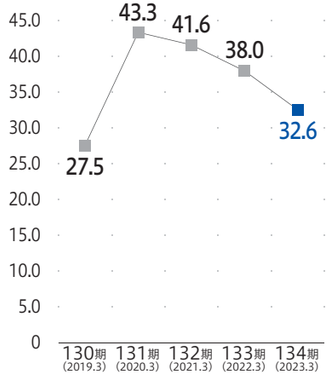


1株当たり配当金・配当性向の推移

1株当たり配当金　単位:円

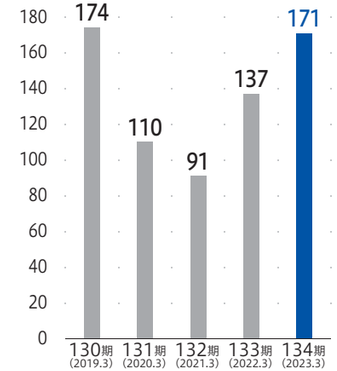


配当性向　単位:%

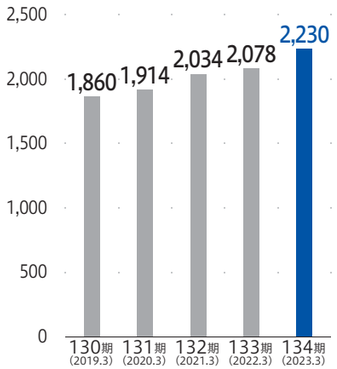


1株当たり当期純利益・1株当たり純資産の推移

1株当たり当期純利益　単位:円



1株当たり純資産　単位:円



(注)円未満を切り捨てて表示しております。

Topics.1　企業活動

新中期ビジョンをスタートいたしました

多様なパートナーと共に、“京都発 最強のトータルソリューション商社”へ

当社は、創立100周年となる2026年度に向けて、新中期ビジョン「T-Link1369～Road to 100th～」をスタートいたしました。グループ全体で成長と変革を推し進め、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

2026年度(目標)

連結売上高	NEWビジネス(2022年度比)	経常利益	ROE
1,300億円	+300億円	60億円	9%

Topics.2　企業活動

経済産業省「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定

当社は、2023年3月8日に経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定されました。
当社では従業員とその家族の健康づくりに積極的に取り組み、従業員のワークライフバランスの整備、定期的なストレスチェックによる状況の把握などの施策を行っております。
今後とも従業員が明るく元気に働くことができる魅力ある職場環境の実現と、企業価値の向上を図るため、健康経営を積極的に推進してまいります。

Topics.3　企業活動

譲渡制限付株式報酬制度を導入いたします

当社は、取締役会において役員報酬制度の見直しを行い、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議し、本制度に関連する議案を2023年６月28日開催の第134期定時株主総会にて付議いたしました。

会社情報・株式情報（2023年3月31日現在）

会社情報

商号	株式会社 たけびし
英文商号	TAKEBISHI CORPORATION
設立	1926年4月24日（大正15年）
資本金	33億84百万円
上場市場	東京証券取引所　プライム市場
人員	従業員（連結）797人（単独）407人 総人員（連結）878人（単独）442人 ※総人員には臨時雇用を含む。
本社	京都市右京区西京極豆田町29番地
支店	東京（東京都千代田区）　名古屋（名古屋市中村区） 滋賀（滋賀県彦根市）　栗東（滋賀県栗東市） 畿北（京都府福知山市）大阪（大阪市北区） 九州（福岡市博多区）
営業所	甲府（山梨県甲府市）
関係会社	（株）フジテレコムズ、（株）ファーストプレイン、 （株）TSエンジニアリング、梅沢無線電機（株）、 竹菱興産（株）
海外拠点	竹菱香港有限公司、竹菱香港有限公司 深圳連絡事務所 竹菱（上海）電子貿易有限公司 TAKEBISHI（THAILAND）CO.,LTD. Le Champ（South East Asia）Pte Ltd TAKEBISHI VIETNAM CO.,LTD.
ホームページ	https://www.takebishi.co.jp/

役員及び執行役員（2023年6月28日現在）

取締役会長	小倉　勇
代表取締役社長	岡垣浩志
取締役上席常務執行役員	坂口和彦
取締役常務執行役員	大井　武
社外取締役	木ノ下英則
社外取締役	池田　聡
取締役（常勤監査等委員）	大西康治
社外取締役（監査等委員）	河本茂行
社外取締役（監査等委員）	山田善紀
上席執行役員	吉村光史
上席執行役員	岩手義典
上席執行役員	滝本晃久
執行役員	田村裕明
執行役員	甲村一太
執行役員	竹本憲弘

株式情報

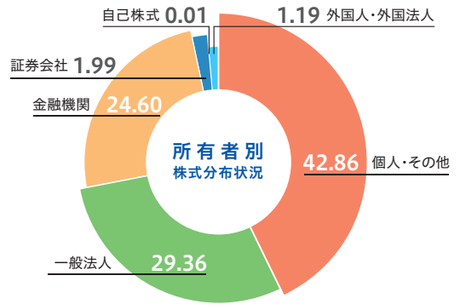
- 発行可能株式総数：28,280,000株
- 発行済株式の総数：15,961,000株
- 株主数：23,163名

大株主の状況

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
三菱電機株式会社	2,340	14.66
株式会社立花エレテック	1,059	6.64
株式会社サンセイテクノス	763	4.78
たけびし従業員持株会	749	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	683	4.28
株式会社三菱UFJ銀行	562	3.52
矢野チズ子	438	2.74
株式会社京都銀行	428	2.68
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.04
京都中央信用金庫	303	1.90

（注）1.持株比率は自己株式（945株）を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2.株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株（持株比率3.75%）を含んでおります。

株式分布状況



お知らせ・株主メモ

株主様向け INFORMATION

IRサイトのご紹介 https://www.takebishi.co.jp/

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、過去からの業績推移グラフ等を掲載しています。
最新情報を分かりやすくご提供できるよう取組んでおりますので、ぜひご覧ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　期末3月31日 中間9月30日 （その他必要ある場合は、公告のうえ設定します）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話（通話料無料）0120-094-777 （土・日・祝祭日を除く9:00～17:00）
公告方法	電子公告の方法により行います。 （ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。） 公告掲載URL（https://www.takebishi.co.jp/）

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

https://www.takebishi.co.jp/
本社／〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL(075)325-2111 FAX(075)325-2250

UD FONT 本文には見やすい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

VEGETABLE OIL INK 環境に配慮した
植物油インキを
使用しております。